

令和7年度 第4回 二俣小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月13日（金） 10時00分から11時30分まで
- 2 開催場所 二俣小学校 会議室
- 3 出席委員 坪井 理佐雄、太田 佳子、野中 庸孝、島 和義、熊本 あゆみ、今村 春幸、松本 美貴子
- 4 欠席委員 武田 友子
- 5 オブザーバー 飯田 一明（二俣ふれあいC所長）
- 6 学 校 大石 浩史（校長）、平野 将太郎（教頭）、鈴木 研太（CS担当教職員）、清瀧 妙子（CSディレクター）
- 7 傍聴者 鎌田 文子
- 8 会議録作成者 CSディレクター 清瀧 妙子
  
- 9 会長挨拶 インフルエンザの流行、新入生の減少、クラスも減るなど暗い話題が多い。全ての学級とまでは言えないが、聞く姿勢など新年度を迎える下地ができてきていい傾向だ。明るい話題を見つけていければいいと思う。（坪井会長）
  
- 10 校長挨拶 3学期は目まぐるしく去っていく。1月末から2月上旬にかけインフルエンザの流行による学級閉鎖が相次ぎ、現在も予断を許さない状況。今後も予防対策を進めて対応していく。
  
- 11 議長の選出 坪井委員が野中委員を推薦、全員異議なくこれを承認。
  
- 12 会議記録 議長の野中委員から過半数が出席しており、会議成立の報告がされた。
  
- 13 熟議事項
  - (1) 学校関係者評価の結果について報告（教務主任）
    - ・資料「令和7年度 学校評価報告書」に添って説明
    - ・来年度の教育課程について
      - 低学年の活動の日、面談の日を増やす
      - 運動会と予備日の工夫、担任以外も含めた子供の居場所づくり
      - いじめ防止対策の充実、二俣小学校のルールの見直し
  - 質疑応答
    - ・全体的に肯定的な評価が高い。人とのつながり、自分の思いを伝える場があるとよいと思う。些細な事を気にする気持ちの弱い子が増えてきている印象を受ける。（島委員）
    - ・子供たちの心は育っているが、学習面がやや低いように感じる。基礎学力をつけるために、来年度はボランティアの力を借りて学習の補助をする等して学力向上をしていってほしい。（太田委員）
    - ・挨拶をすれば返してくれるが、自分たちから挨拶をすることは少ない。人との

つながりをつくり、自分の思いを伝えるきっかけとなるような場が必要。今のご時世、闇雲に外部に学習ボランティアを募集するのは難しい。いい手立てがないだろうか。(坪井委員)

- ・ いじめ対応では子供たちの話をよく聞く機会をつくってほしい。(島委員)
- ・ いじめた子も個人的に接すればいい子で、悪い子はいない。子供たちのいい面を家庭・学校・地域で引き出していきたい。挨拶は相手の目を見てする等、コミュニケーションの際の具体的な姿を示して指導をする必要がある。

(松本委員)

## (2) 来年度の学校経営方針について (校長)

- ・ 資料に基づき学校経営方針についての説明
- ・ 学校と教師の業務の3分類についての説明

### 質疑応答

- ・ さくら連絡網で周知の電話の録音は二俣小独自の施策か。(坪井委員)  
→ 浜松市の施策で市全体に設置された (校長)
- ・ 3分類の取り組みで教員同士の連携ができ、長時間勤務が減り終業時間で業務を終えるようになってきた。(校長・教頭)
- ・ 年間計画の中にボランティアを募集する活動を盛り込んだらどうか。(松本委員)

## (3) 学校運営協議会の自己評価について (教頭)

- ・ 資料に基づき学校運営協議会の自己評価について説明
- ・ 今年度の取組の評価を踏まえ、8年度の本委員会の目標を提案

### 質疑応答

- ・ 情報発信するためのネットワークをつくり、地域で盛り上げていきたい。(太田委員)
- ・ 地域の子供として見守って動いてくれる人達が地域にはいる。(島委員)
- ・ ネットワークづくりを活動の柱の一つにしたい。3分類を基に学校の業務を見直す話し合いを活動の柱にしたい。(教頭)

### 【令和8年度二俣小学校運営協議会の目標】

- 「学校応援団」の実効的な運用とボランティア活動の拡充
- 地域への情報発信とネットワークづくり
- 学校のニーズに即した支援体制の確立と教職員の業務軽減

熟議の結果、全項目について全員意義なくこれを承認した。

## 14 報告

- ・ 夢やらまいかCS加算分報告
- ・ 卒業証書授与式の案内について
- ・ 来年度学校運営協議会の計画について
- ・ 退任される方・新任の方の紹介

## 15 次回開催

令和8年4月23日(木)の予定